

ごあいさつ ≫ GREETING



船橋市バスケットボール協会
会長

竹野 博

TOMAS CUP 2023 第10回船橋ミニバスケットボール大会が開催できますことに感謝申し上げます。

船橋市におけるミニバスケットボールは昭和48年にはじめて大会を開催して以来、県内はもとより関東、全国にそのレベルの高さを実証してきました。また、昭和51年の全国ミニバスケットボール教室交歓大会、昭和60年及び平成19年の全国ミニバスケットボール大会などの大会開催地として組織的にも充実した市であります。このような多年にわたる関係者のご尽力によりミニバスケットボール競技の普及は目覚ましいものがあります。さらに、B.LEAGUE (Bリーグ)「千葉ジェッツふなばし」のホームタウンとして船橋市のバスケット熱は益々高まっております。

日本のバスケットボール界では、第19回FIBAバスケットボール・ワールドカップに、開催国枠として出場しました。予選の1次ラウンドでは1勝2敗のグループ3位となりました。順位決定戦では、劇的な2勝をつかみ取り、アジア最上位となり、パリ五輪出場を獲得しました。自力での出場権獲得は48年振りでのことであり、日本のバスケットボールが間違いなく進化していることを証明してくれました。将来を担う皆さんの成長と活躍にも大きな期待が寄せられています。

今大会に参加された皆さんは、この機会に日頃練習で身につけた力と技を十分に発揮され、立派なマナーで正々堂々と元気一杯のプレーをしていただけることを期待しています。また、集まったチームの友達と友情の輪を大きく広げ、今後もバスケットボールに情熱を燃やし続けていけるようがんばってください。

チームの指導者や保護者の皆様方には、平素からバスケットボールに深いご理解をいただき、子どもたちにスポーツをすることの素晴らしさを与えていただき誠にありがとうございます。今後尚一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

終わりに、本大会の開催に当り、ご尽力いただきました関係各位及びに多大なご支援をいただきました関係の皆様方に深く感謝を申し上げますと共に、この大会が無事成功に終わりますことをお祈りしながらご挨拶いたします。



株式会社リソー教育
代表取締役社長

天坊 真彦

選手の皆さん、こんにちは。私たちリソー教育グループは、船橋のミニバスケットボール大会を「TOMAS CUP」という形で応援し、今年で10回目を迎えます。6年生の皆さんにとっては小学校生活で最後の大会ともいえるこのイベントを、このような形で毎年応援することができ、とても嬉しく、また誇りに思います。

選手の皆さんは、この大会参加に至るまでの練習、トレーニングを通じて、技術の上達や体力の向上だけでなく、チームワークやフェアプレーの精神、スポーツマンシップや相手を尊重する気持ち、勝利の喜びや負けたときの悔しさ、思いやりや友情といったこれから生きていくうえでとても大切なことをたくさん学んできたことでしょう。この大会を通じて、皆さんがさらに心豊かな人間として成長することを願って止みません。そして、皆さんが成長し、今後様々な舞台で活躍することで、この大会がさらに伝統あるものに成長していくのだと確信しています。

私たちリソー教育グループは、「勉強プラスワン」という教育理念を掲げています。勉強ももちろん大切ですが、習い事やスポーツに打ち込むことも同じように大切です。自分の好きなことに打ち込むなかで、豊かな情操を育み、「生きる力、生き抜く力」が養われるのだと思います。リソー教育グループは、少しでもその助けになりたいという思いで、これからもスポーツ・芸術・文化支援活動を始めとする社会貢献活動に取り組んでまいります。

今年、沖縄でも一部開催されたバスケットボールのワールドカップでは、男子日本代表が強豪相手に大逆転勝利をおさめたことは皆さんの記憶にも新しいと思います。それによって自力でのパリ五輪出場を決めることができました。日本代表の今後の活躍にも大変な期待が集まっており、バスケットボール界においても、今後ますます日本の選手が世界で活躍していく時代になっていきます。もしかしたらそれは皆さんの将来の姿かもしれません。今日の今の一瞬一瞬が皆さんの未来へとつながっています。まずは皆さん自身がチームの勝利のために、最後の1秒まであきらめることなく、ボールを追い続けゴールを目指してください。選手の皆さん一人ひとりが周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、全力で悔いのないプレーができるよう、心から祈っています。